

# 労山全国連盟 メールニュース

発行：日本勤労者山岳連盟 メディア局

2014年3月19日 第3号

▲△1：続けて2件の死亡事故発生、4人が死亡

## 緊急に安全対策の再点検を

昨年、労山会員の事故が多発し、年間14名が亡くなるという重大な事態となりましたが、年が明けても、重大な死亡事故が引き続き発生しています。

2月23日には、兵庫県氷ノ山（ひょうのせん）で和歌山県の男性が滑落死亡。鳥取県の大山（だいせん）では、3月9日に日帰り登山に出かけて行方不明となっていた岡山県の3人の男女労山会員が、3/11～12に残念ながら遺体で発見されました。その原因は現在、調査中ですが、あいつぐ死亡事故の連続は、私たちの活動に重大な警鐘を乱打しています。

各地方連盟・各会は山行計画をもう一度見直し、安全対策を強化していただくよう、お願いします。

### ● 最近発生した労山会員の死亡事故

- ① 10/6 兵庫県・七種（なぐさ）山（683m）大阪府連盟 女性 55歳 岩場で滑落
- ② 11/24 北海道・十勝山系 上ホロカメットク山 道央連盟 女性 59歳 テント破損による低体温症
- ③ 12/1 富士山 京都府連盟 男性 61歳 男性 55歳の2名死亡 冬期登山 山頂付近で滑落
- ④ 2/23 兵庫県 氷ノ山 和歌山県連 男性 67歳 冬期登山 下山中 50m滑落
- ⑤ 3/11 鳥取県 大山 岡山県連 男性 67歳、男性 65歳、女性 53歳の3名死亡 冬期登山 悪天候のため

### □ 全国遭難対策担当者会議

参加対象：各地方連盟の遭難対策担当者またはそれに順ずる役員

（各連盟1名分の交通費は全国連盟負担）

※5日の夕食・交流会費として一人2000円をご負担ください。

2014年7月5日（土）13:00～6日（日）11:30

会場：東京・全国連盟事務所1階会議室

▲△2：第5回西日本女性担当者交流集会 165名参加で大成功

2/8（土）～9（日） 沖縄本島北端の国頭村で

沖縄県で労山の全国規模の集会が開かれるのは初めてとなる、「第5回西日本女性担当者交流集会」が、2月8日（土）～9日（日）に沖縄県・国頭村（くにがみそん）奥集落、やんばるの里で開催されました。参加者は西日本各地の女性委員会担当者108名、沖縄勤労者山の会42名、奥区民15名、それ

に全国連盟女性委員の合計 165 名でした。

国頭村は沖縄本島の北端、村の 95%が森林で、貴重なヤンバルクイナも生息している自然が豊かなところですが、23%をアメリカ軍海兵隊の演習場が占めています。沖縄本島最高峰の与那覇岳（よなはだけ）503mや西銘岳（にしめだけ）420mなどもここに 있습니다。そうしたなかで開かれた集会は、「沖縄にも山がある！」「山を歩けば演習場」を全国の皆さんに実感してもらうことを大きなテーマとしました。



初日の 2 月 8 日は、奥小学校の体育館を会場に、まず 3 人の講師から講演を受けました。沖縄国際大学講師の佐藤寛之氏は「ヤンバルの自然と生物」をテーマに琉球列島の成り立ちと多様な動植物について話されました。2 人目は奥集落の猪垣を研究している宮城邦昌氏。3 人目は、「イエティ同人」でヒマラヤの高峰登山に活躍し、現在は沖縄県に在住する雨宮節さんの話を聞きました。雨宮さんは現在、「沖縄県山岳連盟」と「沖縄勤労者山の会」の会長を兼任し、米軍用機オスプレイ配備反対の先頭に立って奮闘しています。自宅上空をパイロットの顔が見えるくらい低空で飛び、爆音で話も聞こえないほどの訓練の実態を訴えました。つづいて、石田良恵さんから山筋ゴーゴー体操の実技指導がありました。

交流会第二部は奥区集落センターに移り、沖縄料理と舞台（沖縄の文化）で盛り上がりました。カラーゲンたっぷりのてびち（豚足）、独特の歯ごたえのミミガーあえ、家庭料理の定番ソーミンチャンプル、舞台では沖縄舞踊、サンシン、最後はカチャーシーで会場が総立ちでした。

二日目の 2 月 9 日は、あいにくの雨となりましたが、西銘岳 420m に 3 組、尾西岳 272m に 2 組の交流登山が行われました。沖縄の山は高さこそありませんが、険しい急登もあり、何よりも他県にはない植生や自然の豊かさがあります。そして、米軍基地の現実も。

集会を準備していただいた沖縄勤労者山の会の皆さん、現地の皆さん、そして西日本各地から沖縄の北端までお集まりいただいた皆さん、ありがとうございました。

---

▲ Δ3 : 毎年恒例 兵庫労山の人気企画

3 / 9 (日)

『六甲全山縦走』に **1144 人**がエントリー **828 名**が完走

---

今年も、労山兵庫県連盟最大の行事である「六甲全山縦走」が 3 月 9 日（日）に行われました。

全縦には 3 つのコースが設定され、あわせて 1144 名がエントリー（出走者 1003 名）、828 名が完走

しました。

この冬は開催までに何回か降雪があり、コースコンディションが危ぶまれました。しかし、幸いなことに当日は、所々凍結したところはあるものの、おおむね良好な状態でした。標高 1000m 近い山頂では一時吹雪のような状態にもなりましたが、大会本部への事故の通報もなく、無事終えることができました。

3 コースの完走率は全山縦走コース 77.52%、西六甲コース 88.37%、東六甲コース 93.45% で多くの参加者が完走することができ、ゴールの宝塚（塩尾寺下）では完走に喜ぶ参加者がご褒美のぜんざいに舌鼓をうち、完走証を手に記念写真を撮っていました。

今回の特徴として、関西大学の青山先生とタイアップしてGPSでの調査を行いました。また、沖縄をはじめ遠方からも、多数の参加者を迎えることができました。



ゴールで記念写真を撮る完走者

---

#### ▲△4：全国理事会の任務分担決まる

---

3月18日に開かれた第1回全国理事会で、以下の任務分担がきまりました（事務局員含む）。これから2年間、よろしくお願いします。

- 組織部 （部長）大澤達雄 （部員）廣木国昭、藤元理津子、岡田賢一、後藤真一
- 財政部 （部長）石川友好 （事務局員）大東伸枝
- 遭対部 （部長）臼井邦徳 （部員）川嶋高志、田上千俊
- メディア局 （局長）今野善伸 （局員）石川友好 （事務局員）水野奈保美
- 国際部 （部長）花村哲也
- 自然保護委員会 （委員長）空席：当面、浦添理事長が実務を代行  
（事務局員）林祥介・自然保護委員 （委員）松野千代加、花村哲也
- 女性委員会 （委員長）藤元理津子 （委員）上野美知代、久保典子
- ハイキング委員会 （委員長）石川友好 （委員）伊藤正勝、田上千俊
- 海外委員会 （委員長）廣木国昭
- 労山新特別基金運営委員会 （委員長）高橋友也  
（運営委員）伊藤正勝、今野善伸、臼井邦徳 （事務局員）大東伸枝
- 登山時報編集委員会 （編集長）花村哲也 （事務局員）桑村昌子、水野奈保美
- 青年学生委員会 （委員長）後藤真一 （委員）川嶋高志
- 技術教育部 （部員）臼井邦徳、田上千俊
- ホームページ委員会 （委員長）今野善伸
- ROUSANパートナーズ推進本部 （本部長）浦添嘉徳 （部員）石川友好、大澤達雄
- 震災対策本部 （本部長）浦添嘉徳 （部員）廣木国昭、藤元理津子